

Windows 95 上のデータベースソフトを用いた 新生児期 ICD-10 病名コードの構築

(分担研究：周産期疾患の登録疾病名に関する研究)

研究協力者：東邦大学佐倉病院小児科

沢田 健

要 約：従来日本の新生児施設で入退院台帳データベースとして広く使用されていた、MS-DOS版のデータベースソフト“桐Ver. 5”（管理工学研究所）で蓄積された日本語病名項目をWindows95版のデータベースソフト“Access95”（マイクロソフト）上で利用するため、猪谷らが作成した“ファイルメーカーPro”（クラリス）上の“新生児ICD-10病名コード”^[1]新生児病名コードをもとにして変換する一括処理プログラムを桐Ver. 5上で作成しWindows95上のデータベースで使用できるようにした。

見出し語：ICD-10, 新生児病名コード, Windows95

研究方法：当院の未熟児新生児病棟へ1995年～96年の間に入院した児より抽出された極低出生体重児(n=26)の入院データベースを対象とした。従来MS-DOS上で動く“桐Ver. 5”に入院児データは蓄えられていたが、今回、Windows95上のデータベースAccess95上で同様の項目を持つものを作製した。日本語病名（病名1～8）で記入されていた病名欄を猪谷らが選んだ“ICD-10新生児最重要コード”（n=131）^[1]（図1）を利用してICD-10のコードで逐一置換する一括処理プログラムを今回作製し利用した。

結 果：元のファイルには若干あいまいな表

記の病名が各主治医によって入力されていたが、ワイルドカード方式の置換式を用いた結果、ほぼ期待されたICD-10の病名コードが得られた。

（図2）ICD-10の新生児病名コードは1600ほど抽出されているが（猪谷）この方法を用いることによって全体の病名を全てICD-10に置換すること方法が確保された。

考 察：桐Ver. 5などデータベースで病名コードを用いず日本語病名で登録している施設は猪谷の調査^[2]によると72%に及ぶという。MS-DOS間のデータベースのデータ移動は比較的簡単にできるので各施設の日本語病名は桐Ver. 5を

フィルターとして使用するとICD-10病名コードに一括的に置換でき、現在普及しつつあるパソコンOS/Windows95上で使用することが可能となった。新生児ICD-10病名コードを全国的に使用していく場合、有用な手段が得られたものと思われる。

文献：

- (1) 猪谷泰史：データベースの作製と病名コード。Neonatal Care:9:45-52, 196.
- (2) 猪谷泰史：新生児患者情報データベース普及化への基礎的検討。平成8年度厚生省心身障害研究「周産期の医療システムと情報管理に関する研究」報告書

code	病名英名	病名日本語
A044	Other intestinal Escherichia coli infections	その他の大腸菌腸管感染症
A048	Other specified bacterial intestinal infections	その他の明示された細菌性腸管感染症
A049	Bacterial intestinal infection	unspecified
A084	Viral intestinal infection	unspecified
A33	Tetanus neonatorum	新生児破傷風
A50	Congenital syphilis	先天梅毒
A543	Gonococcal infection of eye	眼の淋菌感染症
A870	Enteroviral meningitis(G02.0)	エンテロウイルス性髄膜炎
A879	viral meningitis	unspecified
D50	Iron deficiency anaemia	鉄欠乏性貧血
D58	Other hereditary hemolytic anemia	その他の遺伝性溶血性貧血
D68	Hereditary factor8 deficiency	遺伝性第8因子欠乏症
D70	Agranulocytosis	無顆粒球症
D70	Agranulocytosis	無顆粒球症
D745	Other methemoglobinemia	その他のメトヘモグロビン血症
E030	Congenital hypothyroidism with diffuse goitre	びまん性甲状腺腫を伴う先天性甲状腺機能低下症
E031	Congenital hypothyroidism without goitre	甲状腺腫を伴わない先天性甲状腺機能低下症
E032	Hypothyroidism due to medicaments and other exogenous substances	薬剤およびその他の外因性物質による甲状腺機能低下症
E038	Other specified hypothyroidism	その他の明示された甲状腺機能低下症
E039	Hypothyroidism	unspecified
E07	Other disorders of thyroid	その他の甲状腺障害
E071	Dyshormonogenic goitre	甲状腺ホルモン合成障害による甲状腺腫
E078	Other specified disorders of thyroid	その他の明示された甲状腺障害
E079	Disorder of thyroid	unspecified

図1. ICD-10新生児病名コード

ImpNo	病歴No	性	BD	AD	DD	QW	EW	
08-9595-2	95-00109	M	95/01/07	95/01/07	95/05/10	25W+3D	776	P070/P220/E875/P590/P612/P375
08-4664-7	95-01465	F	95/04/05	95/04/05	95/06/19	31W+0D	1380	P550/P540/P071/P590/P612/P271/P284
09-5725-0	95-01837	F	95/04/27	95/01/02	95/04/28	27W+3D	772	P070/P220/P250/H351/P384
09-7427-9	95-02292	M	95/05/27	95/05/28	95/07/13	35W+5D	1234	P071/P703/P358
10-1269-1	95-03385	F	95/07/27	95/07/27	95/08/15	28W+1D	764	P070/59/P250/P271/P358
10-1324-5	95-03410	F	95/07/28	95/07/28	95/11/15	26W+8D	892	P070/P220/P250/P590/P270/H351/P362
10-2291-1	95-03645	F	95/08/13	95/08/13	95/08/24	28W+8D	685	P015/P070/P220/P590/N17
10-2293-7	95-03652	F	95/08/13	95/08/13	95/08/13	28W+8D	1043	P015/P071/P220
10-2708-8	95-03734	F	95/08/18	95/08/18	96/03/12	24W+1D	505	P070/590/875/P270/P271/P375
10-8057-5	95-05271	M	95/11/22	95/11/22		25W+5D	646	P015/P070/590/P612/P270/H351/J955/K40/P375/P362
10-8058-8	95-05270	M	95/11/22	95/11/22	96/03/11	25W+5D	784	P015/P070/590/P612/P270/H351/P375
10-9399-5	95-05692	M	95/12/18	95/12/18	96/04/09	33W+6D	1376	P071/D50/Q17/Q210/Q188/Q336/Q382
11-0872-1	96-00222	F	96/01/13	96/01/13	96/02/19	34W+2D	1412	P071/590/P264/P362/P365
11-2711-1	96-00774	M	96/02/17	96/02/17	96/02/17	32W+4D	1352	P071/P220
11-3187-9	96-00928	M	96/02/27	96/02/27	96/04/19	30W+6D	1212	P071/875/P284
11-5122-0	96-01495	M	96/04/03	96/04/03	96/07/21	27W+3D	692	P070/P590/270/H351/P271
11-5766-4	96-01882	F	96/04/15	96/04/15	96/05/25	33W+6D	1340	P071/P590
11-6175-5	96-01828	M	96/04/22	96/04/22	96/05/31	34W+6D	1356	P071/P590/P703
11-9222-7	96-02799	M	96/06/17	96/06/17		26W+2D	896	P070/P590/P612/P270/J955
12-0187-9	96-03059	F	96/07/03	96/07/03	96/08/14	34W+1D	1290	P071/P590/P590
12-1594-4	96-03585	M	96/07/29	96/07/29	96/09/11	32W+4D	1378	P015/P071/P590/270/P363
12-1595-7	96-03584	M	96/07/29	96/07/29	96/10/10	32W+4D	738	P015/P070/P590/P363
12-1962-7	96-03774	F	96/08/03	96/08/03	96/09/10	35W+0D	1446	P071/P703/P366
12-3733-3	96-04365	M	96/09/02	96/09/02		22W+2D	448	P070/E875/P590/P270/P270/P027
12-4815-1	96-04897	F	96/09/20	96/09/20	96/10/16	35W+6D	1418	P071/P590/P284/P703
12-8257-5	96-05174	F	96/10/17	96/10/17		25W+3D	630	P070/P605/P590/P270/P271/P703/Q188/Q393

図2. ICD-10コードに置換された病名項目 (Access95)



検索用テキスト OCR(光学的文字認識)ソフト使用

論文の一部ですが、認識率の関係で誤字が含まれる場合があります



要 約:従来日本の新生児施設で入院台帳データベースとして広く使用されていた.
MS-DOS 版のデータベースソフト"桐 Ver.5" (管理工学研究所)で蓄積された日本語病名項
目を Windows95 版のデータベースソフト"Access95" (マイクロソフト)上で利用するため,
猪谷らが作成した"ファイルメーカー Pro" (クラリス)上の"新生児 ICD-10 病名コード"
[1] 新生児病名コードをもとにして変換する一括処理プログラムを桐 Ver.5 上で作成し
Windows95 上のデータベースで使用できるようにした.